

広島城南今昔物語

昔ながらに感じ通っている場所も、城下町であった時代は、今は別の表情がありました。当時の様子を想像して通るのも楽しいかもしれません。広島城南郊の史跡を訪ねます。

広島に城下建設を思い立った中国の覇者毛利輝元は、天正17年(1589)に最初の奉行1町19(1591)に112万石余を領し入城しました。文禄3年(1594)に安国寺惠善は新安国寺を、輝元は白神社社殿を建立し城下南辺の要所を固めました。出陣から招いた平田屋惣右衛門、家臣二宮就郎らによる城下端部の整備により、西堂川や平田屋川が新たに開闢されました。

関ヶ原の戦いの後に内城した備島正則は、元和3年(1615)の大洪水に際して城下南岸の修繕と城部の整地の整備を行いました。西国街道を白鳥南部の松原通りから、現在の本通の位置に移しました。さらに出雲石見街道を堺町から分岐し横川へ繋ぎ、城下町割の整備は完了しました。

浅野長晟は元和6年(1620)上田宗綱に繪巻園の築造を命じ、京橋川から池水を引き入れ南に流川や兼井橋を配しました。寛永10年(1633)の西国街道の整備にも、元禄12年(1699)には城下の川6ヶ所に川口番所を新設し、一層物流が発達し大坂以西最大の賑わいをもたらしました。宝暦7年(1757)には新開奉行および新開方木締改所を設け、広大な新開地が城下南部に造営されました。

安政年間(1854-60)には城下の船材が瀬戸内海的主要港への定期船を開始し、本川や各河川には海川を広い多くの舟船が集い、河川に堆積した土砂の淤塞も享保18年(1733)に町民救済のためのほらさらが行われ、文久2年(1862)には城下の町衆により本川川さらし砂持加勢が賑やかに開かれました。

本川沿いに享保年間に住吉神社が勧請され「住吉祭り」が開かれ、廣野御祭では藩主に由る寛政が干渉の弊度に行われました。その光景は広島城南郊の風物詩となりました。

南部の地名あれこれ

今は消え去った昔の地名は、その時代にいきと暮らしと暮らす人の様子が目に浮かぶようです。目なる太田川や支流をのぞみ、江戸時代には城下と南部の村々が所在していました。

◆新開組の村々<広島城下町>◆

広島城を南下する御成道の白神筋に沿う各町を「白神組」と西国街道に沿い西堂川と平田屋川間の各町を「中道組」と、平田屋川と京橋川間の各町を「新開組」と、元安川と本川間の各町を「中島組」と、本川と天満川間の各町を「広瀬組」といい、それら南部に「新開組」に属する村々が広がっていました。

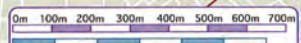
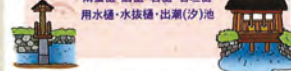
- 白神組 六丁目: 白神筋の白神六丁目南部の新開
- 中道組 國壽寺村: 藩主の菩提所國壽寺南部の新開
- 白鳥村: 旧地名を「備島」といって改名
- 新町組 竹屋村: 旧名を切支丹新開とい後に改名
- 中島組 水主町新開: 中島組南の水主町南部の新開
- 島島新開: 水主町新開南の島島を開き改名
- 広瀬組 広瀬川: 天満川の旧名広瀬川に広がる新開
- 空町: 広瀬川の空神社を取り囲む新町
- 左衛門: 広瀬組新開治屋町に隣接する新町
- 西地方: 広瀬組唐人町東に隣接する新町
- 天満町: 旧小島新開に天満宮を勧請し命名

◆京橋川東部の新町◆

荒神町・西愛宕町・東愛宕町・金屋町・台屋町
西国街道に沿う愛宕町界隈の東端が発した新町

◆新開地の礎門の礎◆

南産橋・産橋・石橋・石垣・用水樋・水抜樋・出瀝(汐)池



尺貫法 1町 (11) = 400間 (1.02m x 36 = 109m) 1町30間 (109m x 30 = 327m) 6町 (654.6m)



凡例

- 西国街道
- 出雲石見街道
- 白神筋・京橋筋
- 白神社
- 祀仏閣
- 学校
- 江戶時代の地名
- 江戸開拓による
- 川
- 井・湧
- 田・畑
- 史跡所在
- ストラムライン
- 市内電車
- 地下鉄(電線)
- 江野 現在の町名

永弘二年御城下洪水以後所々堤岸下出来絵図



元弘5年(1619)の「安芸国測方指極」には、広島城下の町区画とは別に、「広島新開」が併記されており1701石余が示されています。寛文4年(1664)に築き出された「御成道」に、町区画は別に記述し、安芸西側の5ヶ村と併せて2ヶ村、総8037石余の新開地を載せています。正徳5年(1715)に147ヶ村・7町で1万850石余に増加し、町区画の干拓新開が大規模に進められ、城下町が拡張されました。享保2年(1687)の洪水により決壊した城下河川の増防復旧に、城下新開の基本的方向が立案されたといわれています。(『広島城下町史』p65)

広島城南大絵図



■ 町名の変遷

現在	江戸時代	室町時代	戦国時代	平安末期	平安初期
本通	本町	本町	本町	本町	本町
西国街道	西国街道	西国街道	西国街道	西国街道	西国街道
京橋川	京橋川	京橋川	京橋川	京橋川	京橋川
出雲石見街道	出雲石見街道	出雲石見街道	出雲石見街道	出雲石見街道	出雲石見街道
白神筋	白神筋	白神筋	白神筋	白神筋	白神筋
京橋筋	京橋筋	京橋筋	京橋筋	京橋筋	京橋筋
中島	中島	中島	中島	中島	中島
広瀬	広瀬	広瀬	広瀬	広瀬	広瀬
空町	空町	空町	空町	空町	空町
左衛門	左衛門	左衛門	左衛門	左衛門	左衛門
西地方	西地方	西地方	西地方	西地方	西地方
天満	天満	天満	天満	天満	天満

■ 広島城代城主

- 毛利元就 (1519-1600)
- 毛利輝元 (1600-1618)
- 毛利秀元 (1619-1632)
- 浅野長政 (1618-1672)
- 浅野宗重 (1672-1678)
- 浅野宗重 (1678-1701)
- 浅野宗重 (1701-1712)
- 浅野宗重 (1712-1733)
- 浅野宗重 (1733-1736)
- 浅野宗重 (1736-1738)
- 浅野宗重 (1738-1831)
- 浅野宗重 (1831-1835)
- 浅野宗重 (1835-1838)
- 浅野宗重 (1838-1841)
- 浅野宗重 (1841-1849)
- 浅野宗重 (1849-1850)

■ 播磨社寺・史跡名

- 中区**
- 住吉神社 (〒512-0101) 長寺町 (ひがし5条)
 - 西家神社 (〒512-0101) 切支丹新開 (ひがし5条の北) 水主町 (ひがし5条)
 - 高倉園跡 (〒512-0101) 高倉園跡 (ひがし5条の北)
 - 高倉園跡 (〒512-0101) 高倉園跡 (ひがし5条の北)
 - 高倉園跡 (〒512-0101) 高倉園跡 (ひがし5条の北)
 - 江波五山 (〒512-0101)
- 南区**
- 北山神社 (〒512-0101) 多福院 (たふく)

■ 江戸時代の七つの川

- 横川 (よこがわ)
- 宮川 (みやがわ)
- 平田屋川 (ひらたなやがわ)
- 本川 (ほんがわ)
- 元安川 (もとやすがわ)
- 本川 (ほんがわ)
- 天満川 (てんまがわ)